

第3章

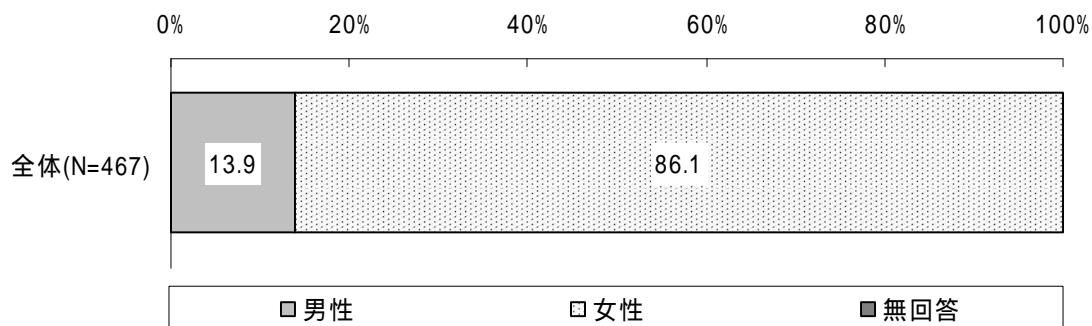
ファーストステップ研修受講者への アンケート調査について

ファーストステップ研修調査集計結果

1. 対象者の属性

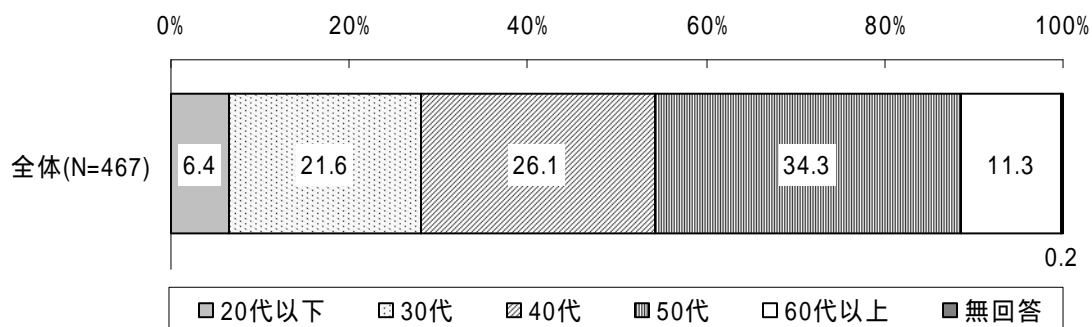
(1) 性別

- 性別は、「女性」が86.1%、「男性」が13.9%で、女性が8割を超えている。



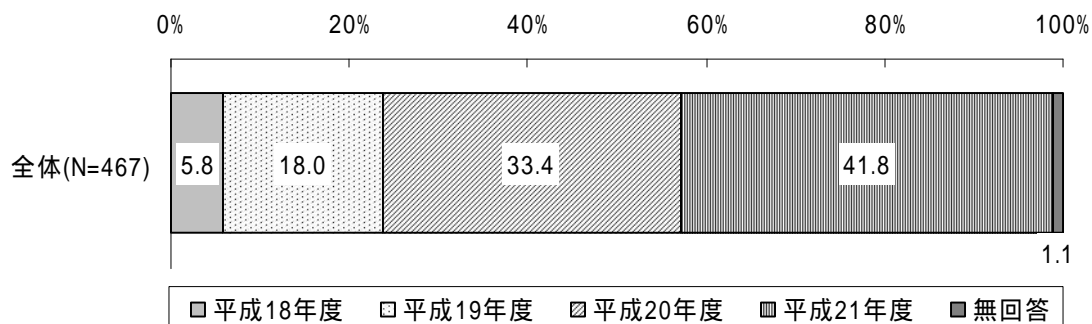
(2) 年齢

- 年齢は、「50代」が最も多く34.3%で、ついで「40代」が26.1%、「30代」が21.6%の順となっており、40代から50代を合わせると6割を超えている。



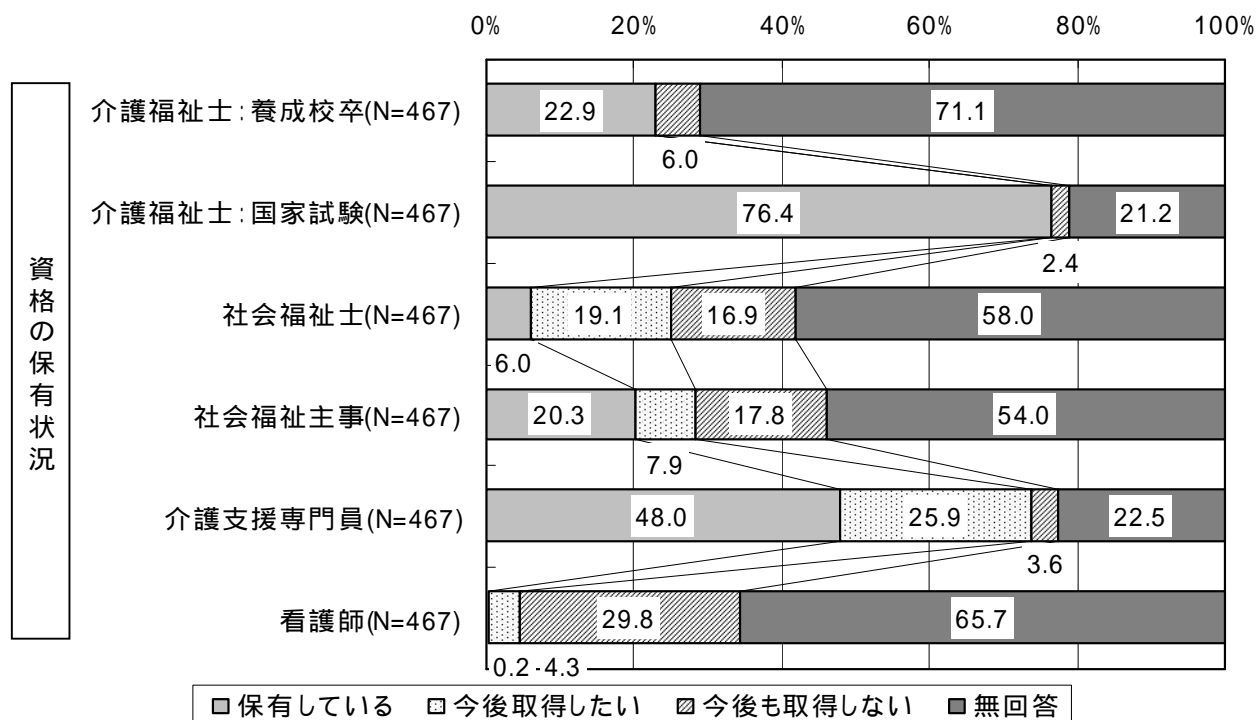
(3) ファーストステップ研修の受講時期

- 研修を受講した時期は、「平成21年度」が最も多く41.8%で、次いで「平成20年度」が33.4%の順となっており、平成20年度以降では4人に3人の割合となっている。



(4) 老人福祉関連の資格の保有状況

- 資格の保有状況をみると、保有している資格では、「介護福祉士：国家資格」が76.4%と最も多く、次いで「介護支援専門員」48.0%の順となっている。また、今後取得したい資格では、「介護支援専門員」が25.9%と最も多く、次いで「社会福祉士」19.1%の順となっている。保有資格と今後取得したい資格を合わせると、「介護福祉士：国家資格」と「介護支援専門員」はともに7割を超えている。一方「看護師」は1割に満たない。



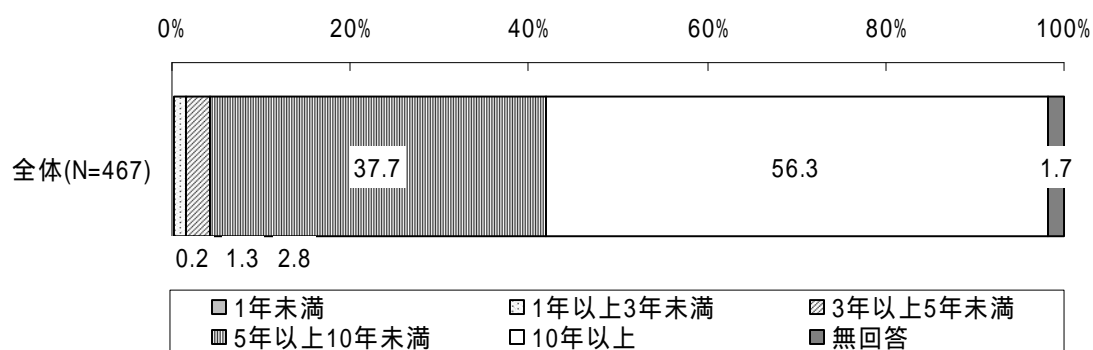
(5) 現在、主に従事している業務

- 現在、従事している業務は、「特別養護老人ホーム（地域密着型を含む）」が18.6%と最も多く、次いで「老人保健施設」17.1%、「訪問介護（夜間対応型を含む）」16.1%の順となっている。

合計	特別養護老人ホーム（地域密着型を含む）	特別養護老人ホーム	ケアハウス	訪問介護（夜間対応型を含む）	訪問入浴介護	デイサービス（通所介護）	通所リハビリ	短期入所生活介護	短期入所療養介護
467	87	8	0	75	2	37	10	3	0
100.0	18.6	1.7	0.0	16.1	0.4	7.9	2.1	0.6	0.0
その他	特定施設入居者生活介護	地域包括支援センター	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	共同生活介護（グループホーム）	老人保健施設	介護療養型医療施設	その他	無回答
50	11	4	4	9	31	80	21	50	9
10.7	2.4	0.9	0.9	1.9	6.6	17.1	4.5	10.7	1.9

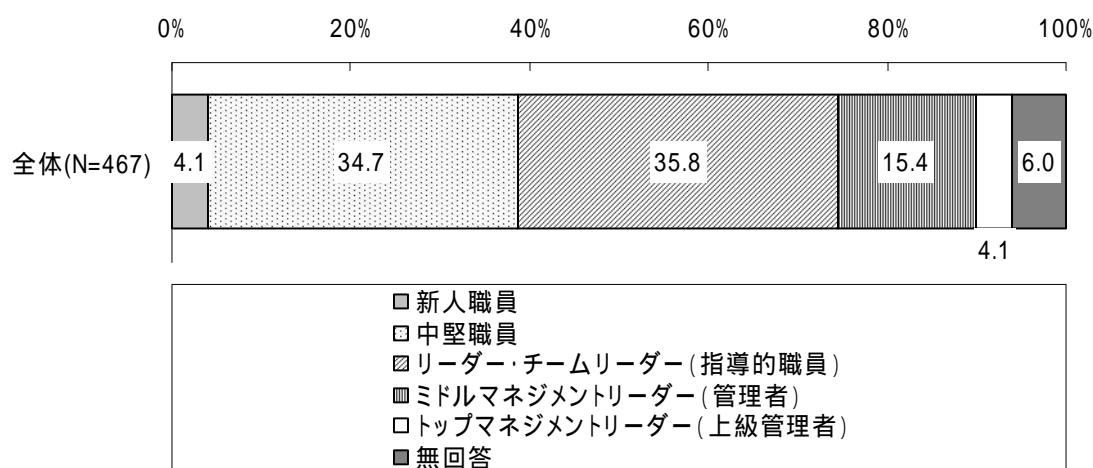
(6) 老人福祉関連業務の経験年数

- 老人福祉関連業務の経験年数は、「10年以上」が56.3%と最も多く5割を超えており、次いで「5年以上10年未満」37.7%の順となっている。経験年数5年以上で9割を超える割合を占めている。



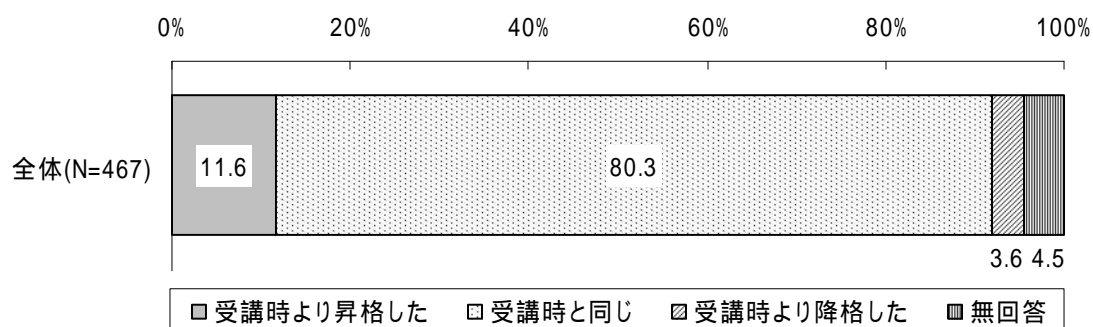
(7) 職場での立場

- 職場での立場は、「リーダー・チームリーダー（指導的職員）」が35.8%と最も多く、次いで「中堅職員」34.7%、「ミドルマネジメントリーダー（管理者）」15.4%の順となっている。「新人職員」や「トップマネジメントリーダー（上級管理者）」はともに1割に満たない。



(8) 職場での立場(役職・地位)の変化の有無

- 職場での立場の変化については、「受講時と同じ」が80.3%と最も多く8割を占めている。一方「受講時より昇格した」は11.6%となっている。



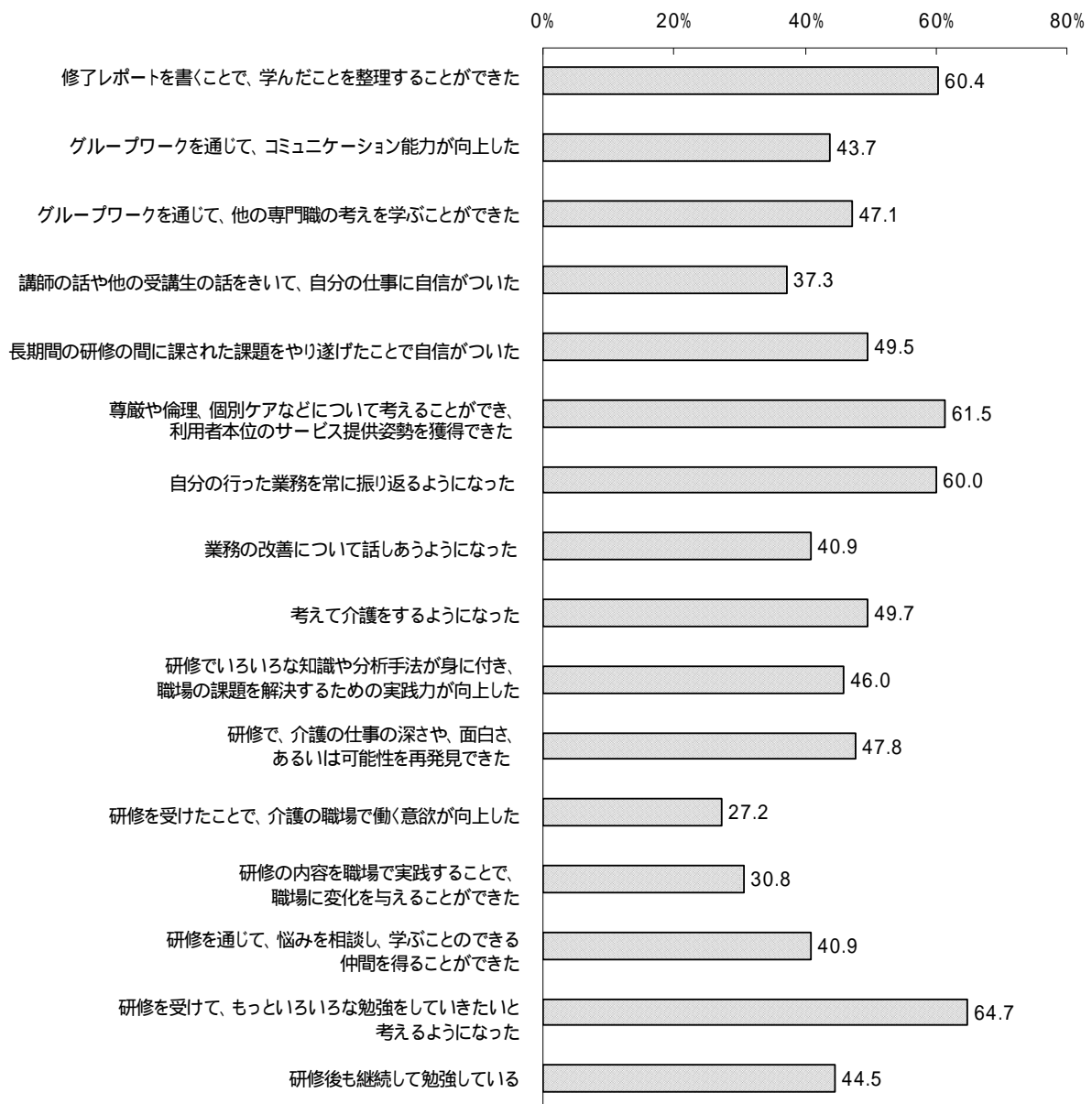
2. ファーストステップ研修についての考え方

(1) ファーストステップ研修の効果

- ・ ファーストステップ研修を受講して、効果を感じることは、「研修を受けて、もっといろいろな勉強をしていきたいと考えるようになった」が64.7%と最も多く、次いで「尊厳や倫理、個別ケアなどについて考えることができ、利用者本位のサービス提供姿勢を獲得できた」61.5%、「修了レポートなどを書くことで、学んだことを整理することができた」60.4%、「自分の行った業務を常に振り返るようになった」60.0%の順となっており、いずれも6割を超えている。

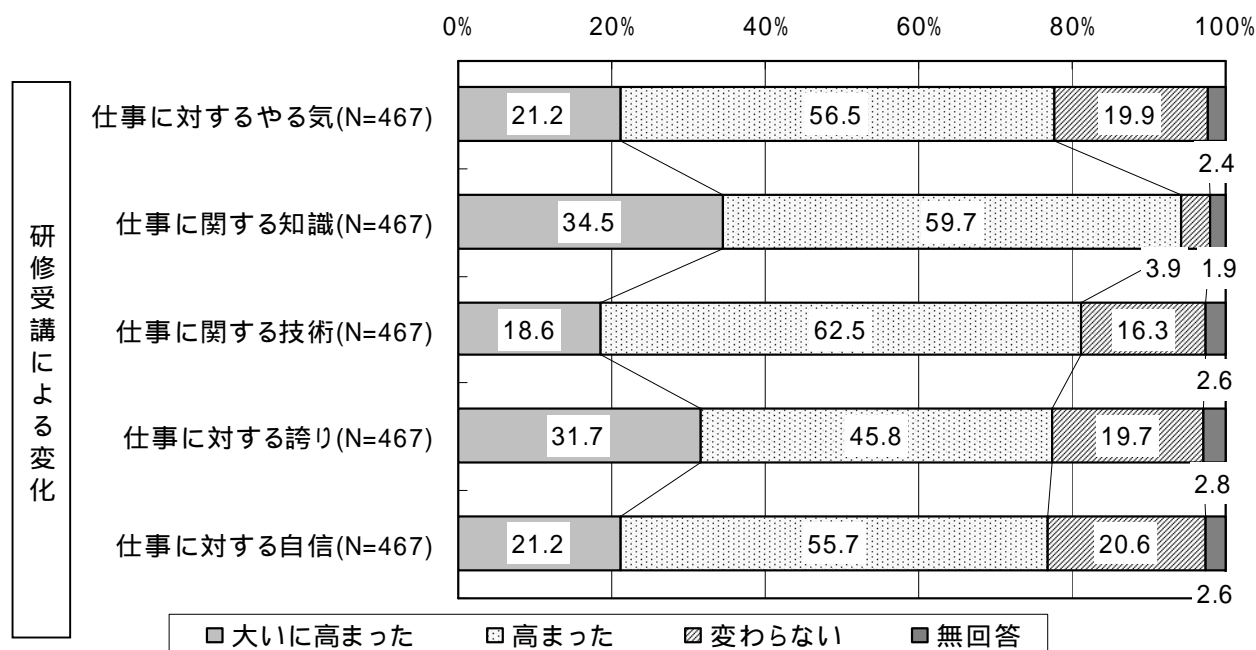
全体(N=467)

(複数回答)



(2) 受講したことで変化を感じること

- ファーストステップ研修を受講して変化を感じることについては、「大いに高まった」をみると、「仕事に関する知識」が34.5%と最も多く、次いで「仕事に対する誇り」31.7%の順となっており、いずれも3割を超えている。また、「高まった」では、「仕事に関する技術」が62.5%と最も多く、次いで「仕事に関する知識」59.7%の順となっている。「大いに高まった」と「高まった」を合わせると、「仕事に関する知識」が9割を超える高い割合となっている。

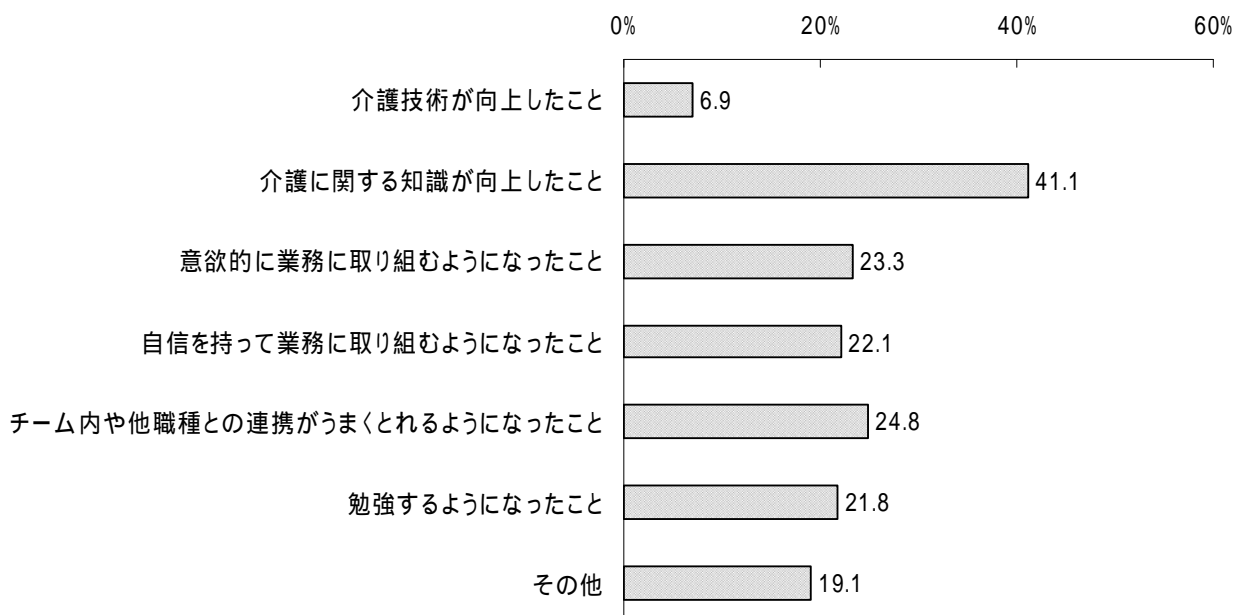


(3) 上司や同僚などから評価された点

- ファーストステップ研修を受講して、上司や同僚から評価された点は、「介護に関する知識が向上したこと」が41.1%と最も多く4割を超えており、次いで「チーム内や他職種との連携がうまくとれるようになったこと」24.8%、「意欲的に業務に取り組むようになったこと」23.3%の順となっている。「介護技術が向上したこと」は1割に満たない。

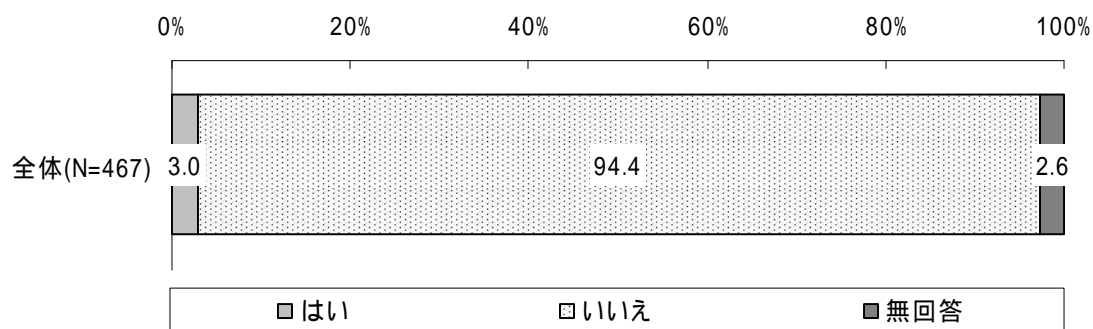
全体(N=467)

(複数回答)



(4) 手当その他の給与面で評価の有無

- ・ ファーストステップ研修を受講したことによる、手当その他の給与面での評価の有無を尋ねたところ、「いいえ」が94.4%となっている。

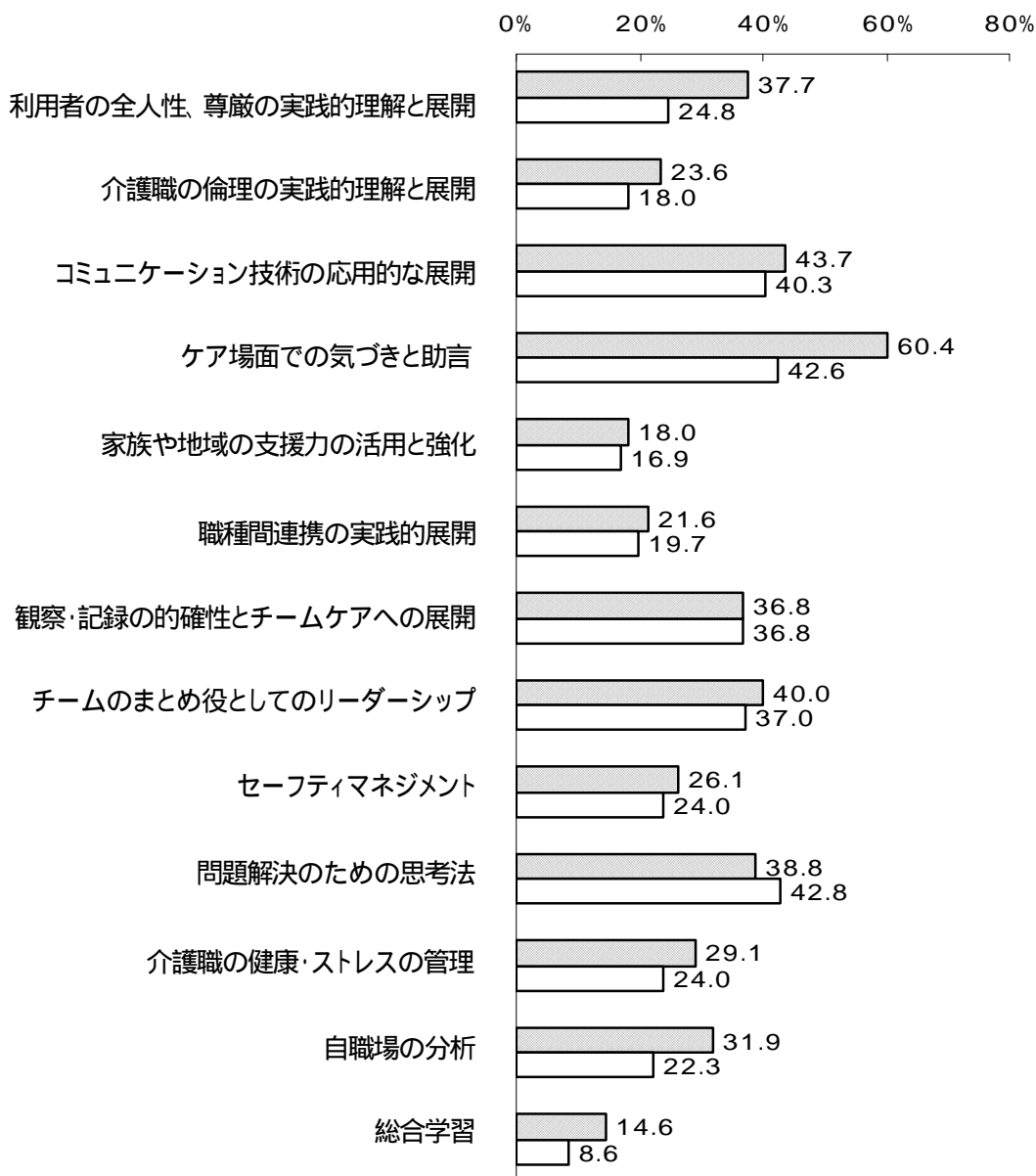


(5) ファーストステップ研修の中で、印象に残っている科目、もう一度(深く)学んでみたい科目

- ・ ファーストステップ研修の中で印象に残っている科目は、「ケア場面での気づきと助言」が60.4%と最も多く、6割を超える割合となっている。次いで「コミュニケーション技術の応用的な展開」43.7%、「チームのまとめ役としてのリーダーシップ」40.0%の順となっており、ともに4割を超えている。
- ・ ファーストステップ研修の中でもう一度(深く)学んでみたい科目は、「問題解決のための思考法」が42.8%と最も多く、次いで「ケア場面での気づきと助言」42.6%、「コミュニケーション技術の応用的な展開」40.3%の順となっており、いずれも4割を超えている。

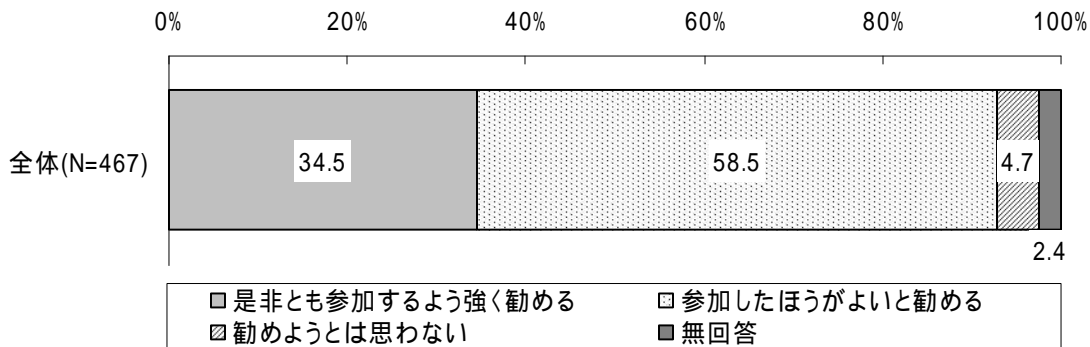
□ 印象に残っている科目 (N=467)
 □ もう一度(深く)学びたい科目 (N=467)

(複数回答)



(6) 同僚や後輩に勧めるか

- ファーストステップ研修を同僚や後輩に勧めるかどうかについては、「参加したほうがよいと勧める」が58.5%と最も多くなっており、次いで「是非とも参加するよう強く勧める」34.5%の順となっている。両者を合わせると9割を超えている。



- ファーストステップ研修を同僚や後輩に勧める理由についての自由記述の内容をみると、「自分自身を振り返り、再確認することができるから」、「多くの知識・技術を得ることができるから」、「自信をもつことができるから」といった記述が多い。

【主な意見】

<振り返ることができる>

- 自分の行っている介護を見つめ直す機会になる。知識を得ることで、意識が変わり、意欲の向上につながる。多くの人に参加することにより（後輩）施設の質の向上につながっていく。
- 1. 系統だった学習ができる。 2. 知ることによって振り返り、気づくことができる。 3. 現場実践をふまえた学習内容は、実践職としての専門性には絶対必要。
- 自分自身を振り返る場となり、又、初心を思い出すことができるから。
- 自分が行っているケアに対する見直しができるし、根拠に基づいたケアを考えるよい機会になると思う。
- 何より自分が研修会に参加した結果、特に現任者にとって意欲向上、スキルアップ、振り返り等、必要な総合研修であると感じました。今後、セカンドステップの学習の機会を願うとともに、受講要件を満たす方に、是非勧めていきたいです。
- 自己流の介護に満足している自分に気づく事が出来たので、一度ちゃんと学ぶ必要を考えさせられました。また、ただ話を聞くだけの研修とは違い、自ら学習する事で、その時だけの知識で終わらないので、現場で生かしていけます。職員のまとめ役として成長するのに大切な知識や技術が学べるので、直ぐ22年度の研修へ参加してもらう様に強く勧めました。

<知識・技術を得ることができる>

- 知識が見識が広がる。
- 研修を受けることで、介護に対する知識や意欲が向上するから。
- いずれも（どの課目も）介護士として、いずれ必要になる知識であり、技術であり、また、介護者の態度である為、まだ身につけていない者がいるのであれば、早く身につけないといけないと考える。
- ・介護に対する知識が深まるから。 ・自身の介護観を見直すきっかけになる。 ・仕事に対して自信が持てるようになる。
- 介護技術のみならず、家族、地域、本人の奥深い気持ちをとらえる視点が養われこと。組織、リーダーシップについても学ぶことができる。
- ・介護職員として必要な知識やコミュニケーション技術等が学べること。
- 職場以外での介護者の知識、技術、思考について学ぶ良い経験になるから。
- 知らなかった知識がふえることと、一つ一つに深く考えるようになって、自職場において、問題解決の為に役立つと思うから。

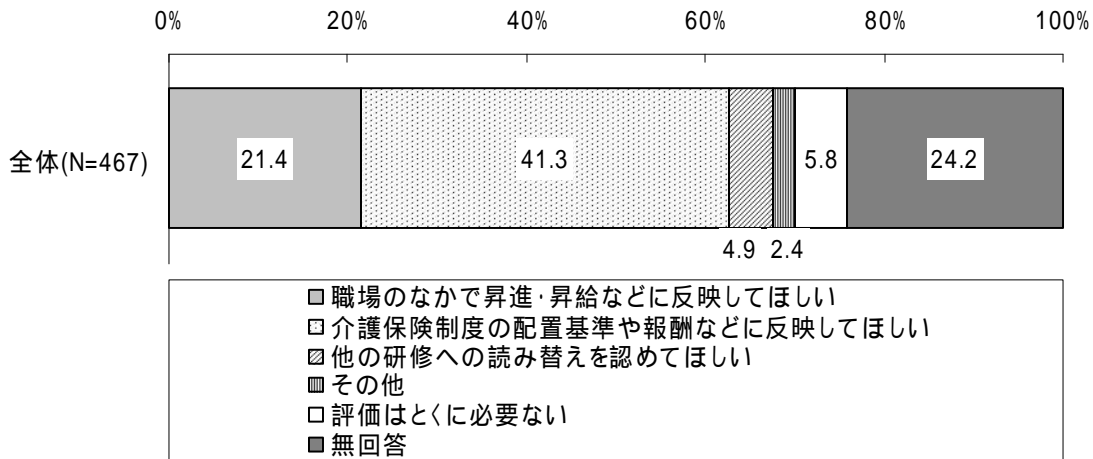
<自信をもつことができる>

- ・ 経験に頼る介護ではなく、きちんとした根拠をもった介護を学ぶことで、介護士としての自信、専門性を高めることができる。個人のスキルアップが、その職員に自信をつけるだけでなく、職場全体の質の向上につながる。
- ・ 私自身とても勉強になり、知識、技術が向上し、自信がついたから。
- ・ 受講してプラスになったし、自信がついた。もっともっとたくさんの人達にも受講してもらいたいし、自己研鑽に励んでもらいたい。
- ・ 介護士として、知識、技術として理解しているつもりであったが、ファーストステップ研修を受けた事によって、改めて見直す事が多く、その結果によって再確認しながら学んでいると、自信が付いて行く自分が感じられた。倫理観の必要性も痛感した。
- ・ 介護士として自信をもって日々業務にあたれるようになる。
- ・ ファーストステップ研修は、これまで受講した研修と違って、事前課題や事後課題があり、それを提出して評価されるので、時間をかけて勉強しました。そのせいか、これまで曖昧だった事にも自信が持てるようになり、意欲的に仕事に取り組むことができるようになり、仕事が楽しくなりました。
- ・ 介護職に対するゆるがない信念と自信をもつことができる。リーダー的立場での指導力の説明力がもたれる。
- ・ 自分が受講して、介護職としての専門性が身につき、仕事に対して自信が持てるようになったため。

3. ファーストステップ研修受講の評価の在り方、セカンドステップ研修に関する希望等

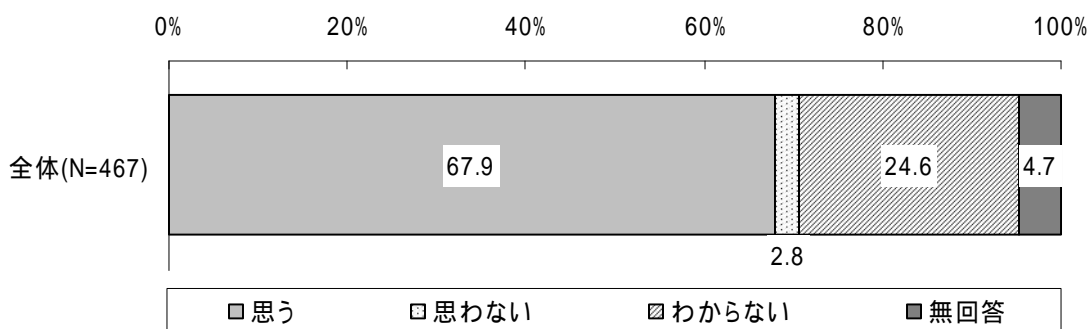
(1) ファーストステップ研修受講の評価の在り方

- ・ ファーストステップ研修を受講したことに関する評価の在り方については、「介護保険制度の配置基準や報酬などに反映してほしい」が41.3%と最も多く、次いで「職場のなかで昇進・昇給などに反映してほしい」21.4%の順となっている。



(2) セカンドステップ研修に関する希望

- ・ セカンドステップ研修がある場合に受講を希望すると思うかについては、「思う」が67.9%となっており、7割近い割合となっている。

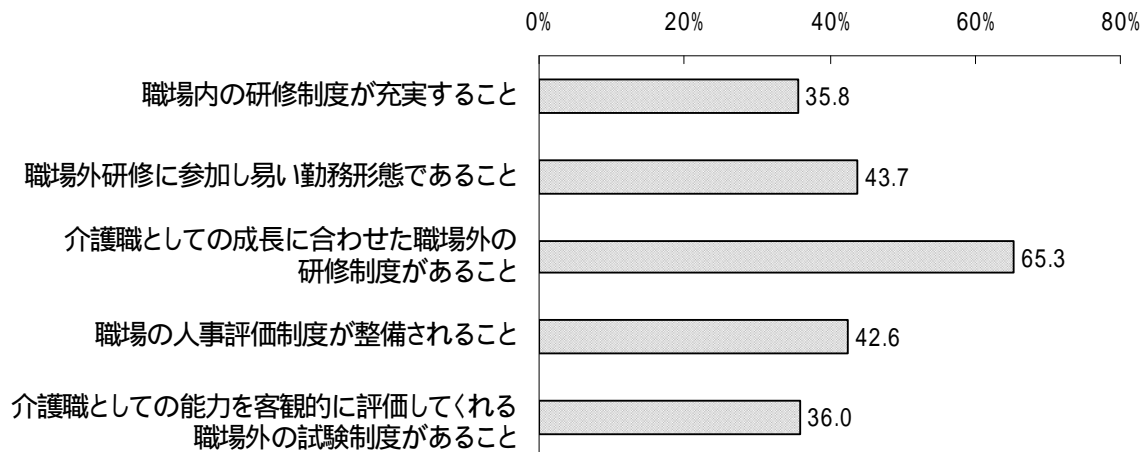


(3) 今後のキャリア形成のための仕組みの在り方

- ・ 今後のキャリア形成のために必要な仕組みは、「介護職としての成長に合わせた職場外の研修制度があること」が65.3%と最も多く3人に2人の割合となっており、次いで「職場外研修に参加し易い勤務形態であること」43.7%、「職場の人事評価制度が整備されること」42.6%の順となっている。

全体(N=467)

(複数回答)



調査結果のまとめ

【ファーストステップ研修の効果について】

仕事に関する知識の向上だけでなく仕事に対する誇りを高めるファーストステップ研修

- ・ ファーストステップ研修の受講者が、大いに高められたと感じることをみると、「仕事に関する知識」が34.5%と最も多く、次いで「仕事に対する誇り」31.7%の順となっており、いずれも3割を超えている。「大いに高まった」と「高まった」を合わせれば、「仕事に関する知識」が9割を超え、「仕事に関する技術」も8割強、「仕事に対する誇り」も8割弱と高い割合となっている。ファーストステップ研修は、知識の向上だけでなく、研修を通じて様々なことを学ぶなかで、仕事に対する誇りを高める効果も持っている。

態度変容をもたらすファーストステップ研修

- ・ ファーストステップ研修を受講して、効果を感じることにについては、「研修を受けて、もっといろいろな勉強をしていきたいと考えるようになった」(64.7%)、「尊厳や倫理、個別ケアなどについて考えることができ、利用者本位のサービス提供姿勢を獲得できた」(61.5%)、あるいは「自分の行った業務を常に振り返るようになった」(60.0%)など、学び続ける姿勢やいつも自分の業務を振り返る態度などを身につけることができたという意見が、いずれも6割を超えている。

上司や同僚からも評価されるファーストステップ研修の効果

- ・ ファーストステップ研修を受講して、上司や同僚から評価された点は、「介護に関する知識が向上したこと」(41.1%)、「チーム内や他職種との連携がうまくとれるようになったこと」(24.8%)、「意欲的に業務に取り組むようになったこと」(23.3%)などが挙げられている。前述のように自分で効果を実感しているのみならず、他者からも認識されるような効果をファーストステップ研修はもたらしている。

同僚後輩にも勧めたいファーストステップ研修

- ・ 受講生は、ファーストステップ研修を同僚や後輩に勧めるかどうかについては、「参加したほうがよいと勧める」が58.5%、「是非とも参加するよう強く勧める」が34.5%で、両者を合わせた「勧める」割合は9割を超えており、前述のような効果を実感している多くの受講者が、ファーストステップ研修を同僚や後輩に勧めたいとしている。

【ファーストステップ研修の課題について】

研修修了の評価の必要性

- ・ ファーストステップ研修を受講したことに関する評価の在り方について、「介護保険制度の配置基準や報酬などに反映してほしい」が 41.3%、「職場のなかで昇進・昇給などに反映してほしい」21.4%となっており、それぞれの職場での評価とともに、制度上評価することが望まれている。ファーストステップ研修の効果を踏まえ、制度上も一定の評価をしていくことが大切ではないか

望まれるセカンドステップ研修

- ・ セカンドステップ研修がある場合に受講を希望すると思うかについては、「思う」が 67.9%となっており、7割近い割合となっている。
- ・ ファーストステップ研修の受講者は、研修の効果を実感しており、今後も学び続けたいと言う希望も強い。
- ・ 調査結果を見ても、今後のキャリア形成のために必要な仕組みは、「介護職としての成長に合わせた職場外の研修制度があること」が 65.3%と最も多く 3人に 2人の割合となっており、次のステージにステップアップするための、次の研修が必要である。